

進捗報告書（実行団体）

Version 1.2

事業名:	子ども・若者オフィス
資金分配団体:	特定非営利活動法人ACOPA
実行団体名:	株式会社新閃力
実施時期:	2021年3月～2022年2月
事業対象地域:	千葉県
事業対象者:	学力の問題ではなく、現在の日本の教育制度に馴染めないが故に、学校に居場所や価値観を見出すことが出来ず、または自分の力を社会で発揮したいと考える子どもや若者（小学生～大学生）

日付: 2021年9月8日

I. 事業概要

事業概要
本事業では、サテライトオフィスTristに子どもや若者が学ぶ「子ども・若者オフィス」を併設し、不登校児を対象として運用することで、子どもたち自身が学校に戻りたい、もう一度勉強したいと思えるような場を提供します。子どもたちに必要なのは「生きる力」を学ぶことであり、学校での勉強の延長線上に「生きる力」が存在するにも関わらず、ほとんどの子どもたちがそれに気づいていません。仕事場の近くに教育環境を整えることで、大人が日常的に子どもたちに関わり、また大人自身が働く・学ぶ姿勢を子どもたちに直接見せることで、子どもたちが本当の意味での「生きる力」を学ぶために自ら学校に戻ることをアシストします。

II. 進捗報告の概要

総括
月4回の取り組みと月1回のイベントを実施し、子どもたちが「受動的に参加する側」から「能動的に企画する側」に変更しつつあります。コロナの影響で不登校かどうか関係なくオンラインでの授業が日常的になり、オフィスで授業を受ける様子も見られるようになり、そこには「学校に行っているかどうか」の垣根がなくなっている気がします。文科省も不登校対策のゴールを「学校に戻る」ことだけでなく、「社会的自立」と発信しました。私たちもそれに合わせて、オフィスを利用する子どもたちが生きる力を養っていきけるような施策を進めていきます。半年間、ICT教育推進顧問として流山市の教育研究企画室とは打ち合わせを進めて、オフィスでの子ども達の様子をフィードバックしつつ、フリースクールに通っている子どもたちへの授業実施、さらにバーチャルフリースクールの公教育での活用も提案しております。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①流山市のサテライトオフィスTrist Airportに、「子ども・若者オフィス」併設、②仕事や今後の人生に役立つ授業や専門家による相談機会の提供、 ③「子ども・若者オフィス」でのイベント及びワークショップの開催や、バーチャルオフィスツールの活用など、オフライン・オンラインともに積極的なコミュニケーションが可能となる環境の整備、 ④事業対象の子ども・若者の受け入れ	・①2021年4月「子ども・若者オフィス」併設完了。 ・②2021年4月から8月までの期間に専門家相談の機会を週に1回、合計23回実施済み。 ・③2021年4月から8月の期間にイベント及びワークショップの開催を月に1回、合計5回実施済み。コミュニケーションツールとしてはoviceを導入し、環境整備完了。 ・④オフィス利用者のお子さんを中心に受け入れ体制を整備。

活動	進捗状況	概要
①流山市のサテライトオフィスTrist Airportに「子ども・若者オフィス」を併設し、オフィス利用者のお子さん等を対象として運用にチャレンジする ②週1回（年48回）の専門家による授業及び相談会の実施 ③月1回（年12回）程度のイベント及びワークショップの開催 ④本事業の実績による自治体・学校への連携の働きかけ	ほぼ計画通り	①②③に関しては進捗状況と同じ。 ④千葉県流山市の教育研究企画室（不登校の子が通うフレンドステーションを運営）との打ち合わせを進め、さらに松戸市の中学校への授業、先生が夏休みに実施している塾や学校に行けていない子のためのオンライン寺子屋の実施場所にもなりました。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>現在は入居者の子どもたちにオフィスを解放しているが、半年後はその友達まで広げていけたらと思っている。 多くの子に利用してもらいたいと思う反面、利用者が多くと来にくい子もいるので、そこは調整が必要だと半年間で学んだ。みんなで楽しみたい子、1人でいたい子が共存できるように、できるだけ人に干渉されないような場所をつくり始めている。 バーチャルオフィスは家から出れない子達にとって非常に有益だと感じたので、流山市の不登校対応をしている教育研究企画室に提案をしている。半年後は難しいかもしれないが、来年度予算で少しでもバーチャル空間を活用したフリースクールを公教育の中で作っていくための手伝いをしたいと思っている。 子ども・若者オフィスでモデルケースをつくり、より多くの地域団体、行政に真似てもらえるような仕組みづくりを今後していきたい。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥4,000,320	¥4,000,320	¥1,792,650	45%
	管理的経費	¥48,000	¥952,000	¥1,000,000	¥151,224	15%
合計		¥48,000	¥4,952,320	¥5,000,320	¥1,943,874	39%
補足説明		管理的経費に含まれるの3月~8月分の家賃30万分（月5万）を9月1日に入金。それを入れると、管理的経費の執行率は45%になり、全体の執行率も45%になる。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナにより「直接対面するイベント」については縮小しなければならなかった（代わりにオンライン上のバーチャルキャンパスが有用に働いた） ■ オフィスの密を避けるため、子どもたちの参加人数も制限しなければならなかった（代わりにオンライン上のバーチャルキャンパスを活用した） ■ コロナに対する考え方が地域の中でも様々なため「複数人が集まる取り組み」を発信することのデメリットを感じ、SNSやHPで積極的に発信できなかった（取り組み自体はデザイナーにまとめてもらっているため、緊急事態宣言が落ち着いたタイミングで一気に発信する予定）

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通り開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	